

< 2 0 2 1 年 度 >

# 自 己 評 価 報 告 書

評価対象期間 自：2021年 4月 1日

至：2022年 3月31日

評価基準日 2022年 5月 1日

2022年 12 月 16 日



学校法人日翔学園  
高知開成専門学校

## 1. 学校の教育目標

本校は、平成10年の開校以来、「建学の精神」「教育理念」を掲げ、日々の教育活動を実施してきた。しかし、時代の流れや社会の変化に伴い、社会や企業が求める人材像も変化しているため、定期的な見直しと改善を加え、今現在の「建学の精神」「教育理念」に至っている。

### (1) 建学の精神

- ① 開成は職業教育機関としての強い認識と自覚を持ち、時代に適応し続ける。
- ② 開成は改革の気概に溢れた土佐のDNAを夢に抱き、気概の育成に尽力する。
- ③ 開成は卒業生の職業現場に視点を置き、その姿を熟知し熱く語る。
- ④ 開成は学生の大切な何かを注視尊重し、全ての学生に期待する。
- ⑤ 開成は立志力・社会力・遂行力の向上と学生時代・資格取得への挑戦を掲げ、その教育を実践する。
- ⑥ 開成は職業教育のプロとして研鑽し、教育力を高め教育の幅を広げる。
- ⑦ 開成は他の教育機関や地域社会と連携し力を注ぐ。

### (2) 教育理念

開成では、「自立自走型の大人」を育てるために、「3つの力（立志力・社会力・遂行力）」と「2つの挑戦（学生時代・資格取得）」に全力で取り組んでいる。社会で生き抜くために必要な専門知識や技術を身に付けさせるとともに、一人ひとりの人間力を高める場として、開成は存在し続けなければならない。

社会で求める人材を育てるためには、何より教職員自身が日々研鑽に努めなければならない。教育に対する「志」と高く揺るぎない「誇り」を持つこと、教職員が一丸となって、より良い教育ができるように努力と改善を続けることが求められる。

学生を良くするも悪くするも教職員の資質が大きく関わっている。大きく成長させるためには、教職員は何をしなければならないのか。そのことを意識しながら取り組むことで、結果は大きく変化するであろう。学生の未来は、教職員の指導一つで大きく変化することを忘れず日々努力をする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

昨年度の取り組みの結果を踏まえ、今年度は次の目標を掲げ、日々教育活動に取り組む。

- (1) 就職率100%を達成することのみならず、就職満足度100%を目指す。
- (2) 国家試験や上級民間資格、公務員試験の合格率アップを目指す。
- (3) 少子化の時代の中、「高校生が行きたい学校」・「学生や保護者から開成に来てよかったと言われる学校」・「高校や企業から開成なら安心と言われる学校」作りに取り組む。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
<p>「建学の精神」に基づいた「教育理念」を定めている。開成では、「自律自走型の大人を育てるために、「3つの力（立志力・社会力・遂行力）」と「2つの挑戦（資格取得・思い出づくり）」に全力で取り組んでいる。社会で生き抜くために必要な専門知識や技術を身に付けさせるとともに、一人ひとりの人間力を高める場として、開成は存続する。また、技術革新が著しい分野の人材育成に取り組み本校では、時代の変化に即応できるよう、理事会をはじめ、学内において理念、目的等を常に見直し、検討を行っている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
1-2 学校における職業教育の特色は何か	
<p>本校では、「建学の精神」と「教育理念」に基づいた「開成教育論」を作成し、具体的な人材育成の在り方を示している。本校の職業教育としては、就職研修や社会戦略講座、開成独自のテキスト『開成就業論』と『開成社会論』を授業で活用している。また、全学生にタブレットを配布し、学生が開発したアプリの動作テストや授業資料の配布を行うなどの活用をしている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
<p>各学科及び専攻の中・長期的な将来像として、「開成の未来像」を纏め、カリキュラム編成の見直しなどにも着手している。各界の協力企業や各種団体の意見なども聞きながら、企業が本当に求める人材像にターゲットを置いて、日々の教育内容の改善も行っている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	
<p>入学前のオリエンテーション及び入学式後に、新入生・保護者を対象にした説明会を実施しており、後援会総会等を通じて、就職教育に関する保護者への説明会も開催している。</p> <p>4月の始業開始1週間は、オリエンテーションを実施し、「開成学生便覧」に基づいて、理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを理解しやすく説明している。</p>	<p style="text-align: center;">4    (3)    2    1</p>
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界ニーズに向けて方向づけられているか	
<p>県内外の関連企業や各種団体との連携を図りながら、学科の指導計画を常に見直し、改編等を加えている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>

#### ①課題

- ・新カリキュラムでは、新たな科目設定や単位数の増減に伴い実習日数も変わるため、教育理念・目標・育成人材像を踏まえて、実習目標に沿った効果的な学習となるように施設と密に連携を図り、情報共有を行っていくことが求められる。
- ・現在の学科構成の見直しなど、検討の余地はあると思われる。

#### ②今後の改善方策

- ・ホームページでの学校の様子を紹介など、更新を随時続けていく。

#### ③特記事項

(2) 学校運営

<p><b>2-6 目的等に沿った運営方針は策定されているか</b></p>	<p>適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1</p>
<p>年度当初に開催される教職員研修において、理事長・学校長より運営方針が発表され、教職員に周知される。日常業務においては、「学校運営会議」、「分野別会議」、「成績会議」や「卒業認定会議」が定期的に行われ、運営方針に沿った各業務や教育活動が報告され、きめ細かく点検し、改善を行っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-7 事業計画に沿った運営方針が策定されているか</b></p>	
<p>事業計画は、年度ごとに作成している。事業計画は各部署の責任と権限において執行している。事業計画の施行状況の把握と必要に応じた軽微の修正は、各部署の責任者が事業内容と計画との整合性を図りながら行っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-8 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</b></p>	
<p>本学園は、私立学校法及び寄付行為に基づいて組織運営を行っている。教職員組織については、学則に基づいた「組織図」を作成し、役職者の事務分掌においての権限と役割分担が明示されている。また、理事会・評議員会も適宜開催している。教職員組織としては、幹部会や全体会を開催し、運営組織や意思決定が有効に機能するように努めている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-9 人事、給与に関する制度は整備されているか</b></p>	
<p>教職員の処遇は、本学園の「経営理念」にも示され、「就業規則」及び「給与規定」を定めている。また、教職員が働きやすい環境づくりとして、「育児休業及び育児短時間勤務に関する規定」及び「介護休業及び介護短時間勤務に関する規定」も別途定めている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b></p>	
<p>設置法人は、寄付行為の規定に基づき運営している。学校運営に関する意思決定に関わる会議として理事会・評議員会を適宜開催しており、会議は適法に議事録を作成し、内容を各部署にも周知している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</b></p>	
<p>「就業規則」や「教職員のサービスガイドライン」、「運転者サービス規程」等の法令遵守に関する規程を定め、教職員研修や学校運営会議で周知徹底している。日頃から弁護士や司法書士、社会保険労務士にも学校運営にご参画いただき、すぐに相談できる体制を整えている。病院・施設とも実習を通じて連携している。実習前後の打ち合わせや振り返り、年1回の指導者会議を持ち、整備に努めている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-12 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p>	
<p>後援会総会やホーム懇談会、保護者を交えた四者面談を通じて、学校関係者への教育活動に関する情報公開を行っている。また、パンフレットやホームページでの資格取得状況や就職状況などの情報を適宜掲載している。広報担当者が各高等学校進路指導部の訪問の際にも資料を持参し、継続的に情報発信を行っている。なお、学生・保護者の個人情報については、承諾を得られた情報のみを公開している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>2-13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</b></p>	
<p>学生情報や検定・資格試験の受検手続き及び就職関連情報等の教職員間での情報共有が図れるシステムの構築をしている。システム、ネットワーク管理については、本校の情報システム管理者と運用管理を依頼する業者と連携をし、教育や業務に支障がないように、セキュリティ対策も含む管理を一元的に行っている。教職員の情報セキュリティの保持を目的として、「教職員用コンピュータ活用規程」も作成している。</p>	<p>4 3 2 1</p>

①課題

- ・ 決裁文書の電子化なども検討ができれば良い。

②今後の改善方策

- ・ さらなる情報セキュリティの強化を継続していく。

③特記事項

(3) 教育活動

<p><b>3-14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p>	<p>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1</p>
<p>社会で活躍できる人材、生き活きと社会で働ける人材を育成するという本校の教育理念に基づき、学科ごとに実社会で必要とされる知識や技術を習得できるカリキュラムを設定している。就職指導についても、就職するためだけでなく、就職後に必要とされる社会力やコミュニケーション力を身に付けることを目的とした授業編成を行っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>3-15 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p>	
<p>業界の動向や就職状況を通じて、各業界が求める人材像を明確化し、ニーズに沿った人材育成を目指す教育目標を毎年検討・修正している。専門学校として確かな知識と人間性を有した人材育成に努めている。</p> <p>各学科ともに目指す資格を難易度順に明示し、到達目標を学年毎に設定している。専門士・高度専門士を取得するために必要な授業時間数は十分に確保されており、その中で資格取得に必要な学習時間は十分に確保している。資格取得については卒業に関わるポイント制を導入し、学科ごとに必要な資格取得を目指す仕組みをとっている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>3-16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</b></p>	
<p>学科ごとに専門知識を学ぶ時間を十分に確保したカリキュラムを設定している。さらに、目指す資格試験日程に合わせて集中授業を実施し、試験合格への対策を行っている。また、学科の学習内容に関係なく、興味のある分野の学習ができる選択方式の授業も実施している。毎年のカリキュラム・シラバスについては、学科ごとに毎年検討し、学校長の了承を得て作成している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>3-17 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</b></p>	
<p>工業専門課程では、社会コミュニケーション論やMS Office実習といった共通科目、及び就職研修といった全学生が履修する集中授業を設定し、自己理解や社会力の育成、将来像の明確化ができる授業を展開している。また、実社会で活躍されている企業人や業界著名人を招いての社会戦略講座も開講し、経験豊かな社会人からの話を直接聞くことでより明確な将来像を描けるように取り組んでいる。医療専門課程（看護学科）では、授業でのグループワークや臨地実習のチームワークなどを通じて、コミュニケーション能力を高める工夫もしている。また、全学科の学生で、課外活動やボランティアへの参加、学校行事の企画・運営に積極的に参加させ、社会人としての基礎力やコミュニケーション力を養う取り組みも行っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>3-18 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</b></p>	
<p>システム系企業や高知県内の病院・施設の協力を得て、実務現場に近い学習が多角的に行えるカリキュラムを設定している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>3-19 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか</b></p>	
<p>工業専門課程では、各学科で学ぶ知識が活かせる自治体や企業でのインターンシップを行い、学生に応じた職場体験を実施している。医療専門課程（看護学科）では、地域の基幹病院から近隣の中小病院・施設まで幅広い現場で学生が学ぶことができる臨地実習を実施している。教育課程編成委員として参画いただいている企業や病院・施設と密に連携を図りながら、現場を意識した実習・演習を行っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>

<b>3-20 授業評価の実施・評価体制はあるか</b>	
平成24年度より研究授業時間を設け、年2回、授業を教員間で見学し合い、同時に行うビデオ撮影の情報を見ながら確実な向上を行っている。また、その授業では学生アンケートも実施し、結果を集計後、教員全体で情報共有するとともに、学校全体で授業改善や資質向上に取り組んでいる。	4 3 2 1
<b>3-21 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか</b>	
教育課程編成委員会（年2回）を実施し、専門分野に関する企業等の役職員の方の協力も得て、実社会に即したカリキュラム編成のため、助言等をいただいている。看護学科では、実習指導者会で実習教育に関しての意見交換を行い、教育に関しての評価を受けている。	4 3 2 1
<b>3-22 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</b>	
専門士または高度専門士を取得するために必要な学習時間や単位について、関連法令に従って余裕を持った設定をしている。成績評価や単位の認定については、学則や教務規則に定め、厳格に行っている。学生に対しては、学生便覧に単位取得や卒業認定について明示し周知している。	4 3 2 1
<b>3-23 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</b>	
学科ごとに目指す資格を再検討し、それに合わせた体系的なカリキュラムを設定している。各科目における学習内容をスムーズに次の科目へ移行することができるように留意している。また、授業科目に対する年間授業計画を作成しており、年度初めに学生便覧の中にシラバスとして掲載し、全学生に配布している。	4 3 2 1
<b>3-24 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</b>	
学科毎に実務経験のある教員が授業を担当している。日々進歩する技術や知識の習得については、各教員が自己研鑽する時間を設け、そのための教材費等も学校から補助することができる仕組みを構築している。	4 3 2 1
<b>3-25 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか</b>	
工業専門課程ではグループ企業での研修実施などの関連分野における人材育成を行っている。また、医療専門課程では病院施設と連携し、教員や講師派遣などの人事交流も積極的に実施している。	4 3 2 1
<b>3-26 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</b>	
校外でのセミナーなどに積極的に参加して自己研鑽に努めている。年間を通じて教職員研修や研究授業なども実施し、教員同士の意見交換・情報共有を行い、資質の向上を図っている。	4 3 2 1
<b>3-27 職員の能力開発のための研修等が行われているか</b>	
年間3回実施している教職員研修において、教育課題の研修を開催し、資質の向上に取り組んでいる。 本校独自のオンリーワンチャレンジを設定し、教職員が個々に目標とする資格を定め、日々研鑽している。必要であれば、当該資格取得のための対策講座を受講し、資格を取得することができる仕組みを構築している。	4 3 2 1

① 課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴うオンライン授業や学内実習への変更による影響を考慮し、学習時間の確保や学習内容の質保証に努めていく必要がある。
- ・学生と企業のコラボ企画のような、新しいプロジェクトを立ち上げて、発信できればと思う。

② 今後の改善方策

- ・カリキュラム改正に伴って実習時間が少なくなる領域もあるが、効果的な学習ができるよう実習内容の検討も実施していく。
- ・関連分野における業界等との現在の人脈を途切れさせないようにしっかりと対話を行っていく。

③ 特記事項



#### (4) 学修成果

<b>4-28 就職率の向上が図られているか</b>	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
学んだ知識を活かした専門分野への就職を目標に、学生の就職活動について、学科に応じた支援を行っている。学内に学生支援センターを設置し、求人情報の掲示や過去の受験状況などの情報を速やかに学生に提供している。就活状況については学生が受験報告書を作成し、病院や企業ごとに取りまとめて他の学生に情報提供している。卒業生への求人情報も継続して行っている。	4 3 2 1
<b>4-29 資格取得率の向上が図られているか</b>	
工業専門課程では毎年目指す検定を精査し、制度改正やC B T試験にも対応している。医療専門課程（看護学科）では、本校独自の国家試験対策システムを構築し、国家試験対策授業だけでなく、放課後も学生が反復して学習できる環境を整備している。通常の授業だけで資格取得が難しい学生については、個別に課題を出し、放課後に補講を実施することで資格取得率の向上を図っている。	4 3 2 1
<b>4-30 退学率の低減が図られているか</b>	
学生個々の出席状況や学習進捗状況を教員間で情報共有し、学生支援やサポートを学校全体で取り組んでいる。出席状況が悪い学生については、早めに保護者へ連絡して協力を依頼し、学校と家庭で協力しながら対応している。課題がある学生については、個別に面談を行うなどして意思の疎通を図っている。学習内容と希望する職種とのミスマッチが起きた場合などは、早急な対応をすることで退学者の低減を図っている。	4 3 2 1
<b>4-31 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</b>	
新型コロナウイルス感染拡大前は、卒業生を学校に招き、在校生に対する講演会や座談会を通じて現在の状況を把握していたため、卒業生の動向については、電話やメールなどの手段で個別に把握することを心掛けている。連絡が取りづらい卒業生もいるので、卒業生調査の精度向上が今後の課題である。	4 3 2 1
<b>4-32 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</b>	
就職した卒業生や卒業生のいる現場から、学校で学んだ知識や技術が現場で活用されているかどうかの情報を収集している。その内容から、カリキュラム設定に反映させる取り組みをしている。現在の社会が求める知識や技術については、より実践的な情報収集をしていくことに努めたい。	4 3 2 1

##### ① 課題

- ・学習への不安、学力不足、単位修得できないことによる中退者が出ている。
- ・日々変わる社会変化に対して、学校で学んだ知識や技術が「現場でどう活かされているか」などの学習成果の把握が必要である。
- ・工業専門課程だけでなく、看護学科も現場の看護部長さん等に講演に来てもらえるようにしてはどうか。
- ・新型コロナウイルスの影響により、校友会やホームカミングディ、学園祭など卒業生を母校に招く取り組みが実施できていない。

##### ② 今後の改善方策

- ・学生の学習の習慣化に向けた動機づけを行い、学生個々が自分の弱点について正確に認識できるように支援していく。
- ・国家試験の全員合格、及び就職率 100%を目指すために、学生の基礎学力の底上げに関する取り組みを実施する。
- ・新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、校友会、ホームカミングディ、学園祭などの卒業生への周知等も含めて検討していく。
- ・臨床での教育の問題点が理解できるように、実習指導者との情報共有を継続していく。

##### ③ 特記事項

(5) 学生支援

<p><b>5-33 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b></p>	<p>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1</p>
<p>就職・進学に関する専門支援部署として「学生支援センター」を設置している。センター長と教職員（2名）がホーム担任と連携しながら、ハローワークをはじめ就職斡旋機関からの求人や、企業や団体からの学校求人も年々増加し、高い就職率を維持している。全教職員が力を合わせ、学生に経験に基づいたきめ細やかな手厚い就職支援サポートをしている。学生支援センターでは過去の受験情報や就職関連図書などの閲覧ができるなど、就職サポート体制は万全である。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-34 学生相談に関する体制は整備されているか</b></p>	
<p>学生の少しの変化にも対応すべく複数担任制で学生対応にあたっている。また、女子学生の相談では、女性教員を相談員に配置し、相談しやすい環境を整えている。また課題のある学生については保護者に対し、早めの連絡をすることで学生支援の連携を図っている。「1人学生」を防止する為に教職員からの積極的な声掛けなどのコミュニケーションを図っている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-35 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</b></p>	
<p>奨学金等の経済的サポートについて、学生募集要項などに予め記載し、きめ細かに個別相談に応じるなど、活用を促している。また、学納金の分納制度を導入し、学生の置かれている経済状況に配慮した支援体制を実施している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-36 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</b></p>	
<p>毎年実施する健康診断は学校保健安全法に定められている項目以上(胸部X線検査など)を実施している。また通学時の不慮の災害事故に対する傷害保険にも任意加入し、学生の健康管理に努めている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-37 課外活動に対する支援体制は整備されているか</b></p>	
<p>毎年、県内企業・団体と連携したセミナーを開催し、学生の職業意識の向上を目的として、多くの学生が様々な職場体験（インターンシップ）ができる機会を設けている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-38 学生の生活環境への支援は行われているか</b></p>	
<p>本校では「学生契約マンション」を準備し、高知市内から離れた地域で親元を離れて暮らす学生の一人暮らしを応援している。また、保護者の経済的負担を軽減する目的で「開成育英制度」による授業料減免での支援や、学生が教職員だけでなく、不動産業者の方にも気さくに悩みが相談できる環境づくりをしている。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-39 保護者と適切に連携しているか</b></p>	
<p>学生のちょっとした変化にも対応できるように複数担任制をとっている。学生に課題がある場合は、保護者に早めに連絡や相談し、学生支援の連携を図っている。また、教職員間の学生情報を共有できるミーティング時間を毎日設けており、常に学生や保護者に対して全教職員で対応できる環境を構築している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-40 卒業生への支援体制はあるか</b></p>	
<p>毎年、企業や団体からの既卒者対象の学校求人があり、卒業生の動向を把握している為、求人情報の提供を適宜実施している。また必要に応じて、来校する卒業生に対して面接指導などの就職サポートを実施している。</p>	<p>4 3 2 1</p>
<p><b>5-41 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</b></p>	
<p>工業専門課程では、異学年・異学科の縦割りクラス編成を取り入れ、クラスや学校行事の運営で、社会人として重要な自発力、責任力を培っていただける教育環境づくりをしている。医療専門課程（看護学科）は、社会人の学び直しも支援するために「社会人推薦入試」を実施し、社会人の入学後のサポート体制も整えている。社会人としての生活を意識し、朝は朝礼で始まり、帰りは夕礼で終わる形式を取り入れ、職業現場により近い教育環境で教育をしている。</p>	<p>4 3 2 1</p>

5-42 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
<p>近隣の高等学校からの依頼を受け、プログラミングや公務員試験対策、看護の仕事体験などの出前授業や、ソフトウェア団地の企業訪問などの連携教育を実施している。また、(一社)高知県専修学校各種学校連合会のキャリア教育委員会の一員と県内専修学校と協力しながら、県内高等学校、小・中学校で幅広くキャリア教育や専門分野の職業教育の支援サポートを行っている。</p>	<p style="text-align: center;">( 4 )    3    2    1</p>

① 課題

- ・卒業生への就職支援が行えるように、中途採用の求人数を増やす取り組みが必要ではないか。
- ・時期的や学科毎で非常に遅刻者や病欠者が多くなる時があるので、留意、対応を検討する必要がある。
- ・新型コロナウイルスの感染防止の観点から卒業生が学校に集うホームカミングデイが開催できていない。
- ・出前授業の講義メニューのデータを共通化し、教員の誰もがができる体制作りが必要である。

② 今後の改善方策

- ・出前授業に参加した生徒が、より看護に興味を持ってもらえるように、現状に甘んじずに工夫した体験学習の準備をする。

③ 特記事項

(6) 教育環境

<p><b>6-43 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b></p>	<p>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1</p>
<p>一般教室の他、専門知識や技術の習得を目的とする実習や演習を行うため、パソコン41台を常設したパソコン教室が2教室、「看護実習室」や「在宅看護実習室」を設け、最新の設備や機器の導入により現場に近い環境で学べるようにしている。また、学生がレポート作成時に文献等を調べられるように「図書室」も設置している。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
<p><b>6-44 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</b></p>	
<p>工業専門課程では、学生の積極的なインターンシップへの参加を促している。県内の企業が連携して取り組むインターンシップのサポート団体にも協力いただき、学生が希望する企業へのインターンシップを可能にしている他、自治体等のインターンシップを積極的に活用している。医療専門課程（看護学科）では、高知県内の多くの病院・施設にご支援いただき、学生の臨地実習を行っている。インターンシップ・臨地実習時には、学生傷害保険に加入し、不測の事態にも備えている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
<p><b>6-45 防災に対する体制は整備されているか</b></p>	
<p>毎年春と秋の2回避難訓練を実施している。高知市では大規模震災が想定されることから火災避難訓練の他、巨大地震発生を想定した避難訓練も実施している。校舎は耐震性が高く、避難に際し、周辺道路の道幅は広く、危険なブロック塀もない。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>

① 課題

- ・看護教育において、消化器、呼吸器、心臓の「触れる」模型があった方が学習効果を期待できるのではないかと。

② 今後の改善方策

- ・実習等において、実習施設や関連教育機関との協力体制を継続し、情報共有とともに連携して学生を育てていく。

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

<p><b>7-46 学生募集活動は、適正に行われているか</b></p>	<p>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1</p>
<p>本校の教育内容を十分理解した上で入学するように、学科毎の学習内容等を分かりやすく、「スクールガイド」や「ホームページ」で紹介している。志願者からの問合せや相談には、広報担当と当該学科の教員が協力して対応している。</p> <p>志願者が本校での学業生活や卒業後の進路をイメージできるように、「オープンキャンパス」の企画内容も工夫・改善を加え、学科毎の将来像や就職先などの紹介だけでなく、本校学生が学ぶ環境と同じ体験授業を実施している。</p> <p>本校は、(一社)高知県専修学校各種学校連合会に加盟し、高等学校で行われる学校別説明会や職業分野別説明会にも積極的に参加し、専門知識・技術の修得に関する理解や体験ができるような出前授業も行っている。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
<p><b>7-47 学生募集活動において、教育成果は伝えられているか</b></p>	
<p>教育成果の指標である就職実績及び資格取得率については、「スクールガイド」に記載している。過去数年分の就職先及び職種も記載している。</p> <p>オープンキャンパスでの学科別説明の際など、就職率や資格取得率を公表している。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>
<p><b>7-48 学納金は妥当なものとなっているか</b></p>	
<p>学納金は、教育研究費、人件費、施設管理費などを算定の基礎として、理事会の承認を得て決定している。学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で行っている。また、入学辞退者に関する授業料の返還に関する取り扱いは、学則に定め、「募集要項」に明記している。</p>	<p style="text-align: center;">(4)    3    2    1</p>

① 課題

- ・少子化の影響もあり、定員が充足していない。
- ・学費支援制度について、公的な制度や本校独自の制度など多くの各種支援制度があるが、減免額と納入が必要な学納金がわかりづらいことがある。
- ・学費の分納制度など、利用している奨学金によって学生個々に対応した納入の相談に応じているが、年度当初の分納計画を含め、学生への意識付けを図っていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・広報部だけでなく、教職員全体が意識して学生募集に取り組んでいく。
- ・新型コロナウイルス感染状況も見ながらではあるが、高校訪問等による高校の進路の先生とのコミュニケーションも増やしていく。高校の進路の先生との人間関係づくりを通じて、本校の教育活動の取り組みを情報発信し、知ってもらおう。
- ・PRと募集の因果関係の評価は難しいが、PR活動も継続的に実施していく。

③ 特記事項

(8) 財務

8-49 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
貸借対照表の各比率や現預金等の確保の状況、及び資金収支決算も安定している。財務基盤は安定しており、個人や企業から寄附金を受けて、さらに改善している。	④ 3 2 1
8-50 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
予算の編成及び執行に関する規定は、寄付行為に定めている。学校法人会計基準に従い、財務諸表が作成され、予算と収支管理を行っている。	④ 3 2 1
8-51 財務について会計監査が適正に行われているか	
寄付行為に基づき監事が監査を行い、監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出している。	④ 3 2 1
8-52 財務情報公開の体制整備はできているか	
財務情報については、本校のホームページの「情報公開」ページに公開しており、学生や保護者も閲覧できるようにしている。また、学校関係者（保護者を含む）からの情報開示請求があった場合は、理事会の承認を得た決算書を情報開示請求者が閲覧できるように対応している。	④ 3 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

- ・現在行っているブランディングをはじめとする募集の強化を継続する。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

<b>9-53 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</b>	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規定を遵守して、学校運営を行っている。法令遵守に基づく適正な学校運営のためには、教職員一人ひとりの意識が重要で、学校運営会議や教員研修などで定期的に周知徹底を図っている。学生への周知は、入学前の「新入生説明会」や入学後の「オリエンテーション」を実施し、学生一人ひとりへの「開成学生便覧」の配布や説明に加え、朝礼・夕礼、掲示物等で周知徹底を図っている。	4 3 2 1
<b>9-54 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</b>	
個人情報保護に関する基本理念として「個人情報保護規定」を策定し、学生・保護者にも周知している。教職員も「服務ガイドライン」を厳守している。	4 3 2 1
<b>9-55 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b>	
自己評価委員会を設置し、教職員全員が記入した自己評価シートに基づき、委員の意見交換を行っている。問題点やその改善策を洗い出し、「自己評価報告書」に纏め、次年度への計画に反映させている。	4 3 2 1
<b>9-56 自己評価結果を公開しているか</b>	
本校のホームページの「情報公開」ページで公開し、学生や保護者も閲覧が可能となっている。	4 3 2 1

① 課題

・

② 今後の改善方策

・

③ 特記事項

・

(10) 社会貢献・地域貢献

<b>10-57 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</b>	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
近隣からの高等学校からの依頼を受け、本校及びソフト団地協議会の企業見学など高校生が職業理解を深める学習支援なども行っている。	4 3 2 1
<b>10-58 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか</b>	
学校周辺地域の清掃活動や日本赤十字社の協力による献血ボランティアの参加などに学校全体で取り組んでいる。また、県が主催するおもてなし一斉清掃や、各自治体で行われるボランティアへの積極的な参加を促し、本校学生が熱心に取り組む姿にお褒めの言葉をいただくことも多い。	4 3 2 1
<b>10-59 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか</b>	
近隣の高等学校からの依頼を受けて、出前授業なども継続的に実施している。また、高知県や高知県立高知高等技術学校と連携して、「長期高度人材育成コース」の訓練生も積極的に受け入れ、社会人の学び直しの支援も行っている。	4 3 2 1

① 課題

- ・ ボランティア内容がもう少し多岐になること、学生自らが取り組むことができると更に良いと思う。

② 今後の改善方策

③ 特記事項